

第1回

“ウォーキング倶楽部”

とき：平成31年4月27日(土)午前9:00開始

ところ：日和山公園駐車場

【今回の見どころ】

“酒田市内名所コース”



【湊庭園】

酒田市が2015年から日和山公園で整備を進めていた、通称「ひょうたん池」一帯の改修工事が今春終了し、『湊庭園』が完成した庭園には、庭門や枯山水の庭、常夜灯、藤棚、あずま屋を配置し、園内を周遊できる通路や高齢者にうれしい手すり付きで、段差の低い階段など子供から幅広い年齢層の人が利用しやすい作りとなっている。植栽されたアジサイや紅葉・四季折々の草花を楽しめる憩いの場所として、日和山公園の新たなスポットになった。



【甲午震災記念碑】

●現地の解説板より『甲午震災記念碑』

明治27年(1894年)10月22日午後5時35分、庄内地方は大震災にみまわれた。夕飯の時刻でもあったので火災も発生し、未曾有の大惨事となった。酒田町の過半数に当たる1747棟の家屋が全焼し、160人を超える死者が出た。庄内全体で死者700人を超し、焼失家屋も2500棟を超したが、船場町、傳馬町、秋田町、袖浦村、広野村、新堀村など、最上川下流地帯の被害が特に激しかった。

天皇皇后両陛下の御下賜金、全国からは多額の義援金が送られるなど震災救恤があった。本間家は仮設病院建設の為に200円を拠出した。旧庄内藩主坂井氏をはじめ鶴岡、酒田の豪商有力者による救援炊き出し、町医者による病人、怪我人の医療が行われた。明治33年、白崎善吉らを建設惣代人とし、酒田浄福寺住職が碑文を作り、石碑を建てて賑恤の徳を悠久に伝えとともに、防災の心構えを忘れないよう、是に記した。



【松林銘】

風砂の被害に悩まされていた人々のために、私財を投じて2kmもの距離に松を植林した本間光丘。光丘の没後16年を経て、1816年に植林の功績を後世に伝えるために有志が、松林銘を建立した。

石は御影石で、神戸で彫られ海路で運ばれた。



【酒田大仏】

酒田の街を慈愛の眼差しで見つめる持地院の大仏。高さ17mと銅製の立像では、日本一と言われている。鎌倉や奈良の座像の大仏と異なり、スッと立った優しい面差しの姿は一度は見てください。



【酒田柳小路屋台村 北前横丁】

酒田柳小路屋台村 北前横丁は、地元の食や食文化歴史や魅力を広く発信する屋台村。10軒の内、誰もが「1日店主」になれるチャレンジ屋台もあり。

(写真資料：酒田市公式ホームページより)



— JA健康寿命100歳プロジェクト —

JA庄内みどり 2019

令和初！

第2回

“ウォーキング倶楽部”

とき: 令和元年5月25日(土)午前9:00開始

ところ: 松山 楽天グラウンド駐車場

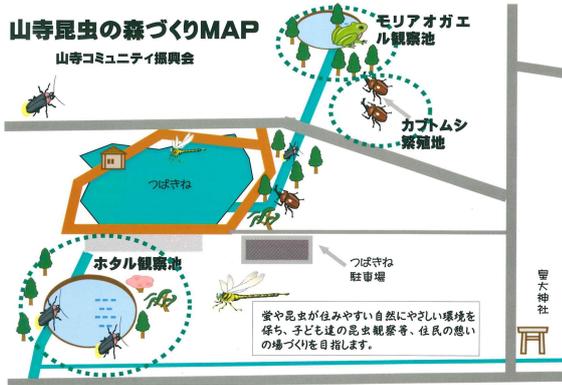
【今回の見どころ】

“楽天グラウンドコース”



【松山多目的運動広場】

野球・サッカー兼用グラウンド(固定観客席なし)、パラグライダー練習場として、平成12年3月に完成。「楽天イーグルス」の地域密着活動の一環として、平成25年8月2日球場の愛称を「楽天イーグルス酒田松山ボールパーク」と命名し、調印式・看板披露式等を行なった。山形県内では、河北町・東根市について3球場目。



【山寺昆虫の森づくり】

山寺コミュニティー振興会では、多目的公園周辺の自然環境整備を進め、「山寺昆虫の森づくり実行委員会」を組織し、山寺地区を虫や昆虫が住みやすい、自然にやさしい環境を保ち、子供達の昆虫観察等、住民の憩いの場づくりを目指している。椿根堤をぐるりと廻れる遊歩道が整備され、そばを流れる小川を利用した虫の観察池などがある。

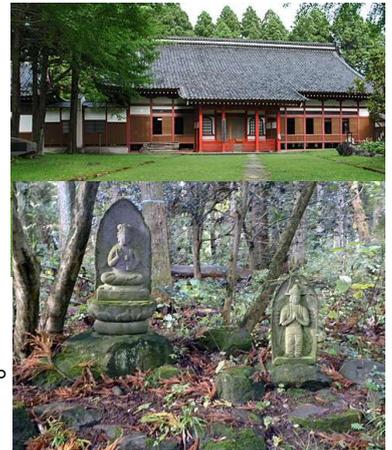
【東林山 宝蔵寺 つばきね三十三観音】



曹洞修、庄内三十三霊場
第十三番札所。

御影: 聖観世音菩薩

本堂の裏手に池があり、それを取り囲むように、石で刻んだ33体の観音像が連なっている。
(写真資料: 庄内観光サイトHPより)



【山寺皇大神社】

山寺皇大神社の由来は、1618年、村の東方で連日不可思議な光が観測されたことに始まる。怪しく思った村人が連れだって調べに行くと、山の沼の中に一本の巨大な柳の倒木と、その根元に光る石の塊を発見したとのこと。これを珍しいとした村人達はその柳で観音を彫り、お堂を設け光石とともにお祀りしたのだとか
参道の途中に高さ30mの大イチヨウの木がある。



【阿部記念館】

「三太郎の日記」で有名な阿部次郎とその兄弟、そして甥の生物生態学者阿部襄の業績を讃え、ご遺族から寄贈を受けて平成3年に開館した。



【写真資料: 酒田市公式ホームページより】

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2019

第3回

“ウォーキング倶楽部”

とき: 令和元年6月22日(土)午前9:00開始

ところ: 国体記念体育館駐車場

【今回の見どころ】

“南洲神社・あじさいコース”



【南洲神社】

「西郷どん」と庄内・酒田の縁～南洲翁遺訓のふるさと～

南洲神社は、南洲翁(西郷隆盛)を祀る神社。鹿児島市 沖永良部島和泊町、宮崎県 都城市、そして山形県酒田市です。九州以外では、酒田市にしかありません。なぜ遠く離れた酒田市へ南洲神社があるのか…。そこには、南洲翁と庄内藩の交わり、そして先達たちの「後世に南洲翁の遺徳を伝えよう」という思いがありました。

戊辰戦争～西郷隆盛と庄内藩～

明治元年の戊辰戦争で、庄内藩は幕府側として官軍に激しく抵抗した末、帰順降伏しました。厳しい処分を覚悟してた庄内藩でした



が、南洲翁の指示により、公明正大で極めて寛大な降伏条件の言い渡しを受けたのでした。

徳の交わり～南洲翁と臥牛翁～

この公明正大な処分に感銘を受けたことから、明治3年から8年にかけて、庄内藩は藩主酒井忠篤公を先頭に鹿児島を訪れ、南洲翁の学びを得ました。また、明治8年には旧庄内藩の中老、臥牛翁(菅実秀)が、鹿児島の武屋敷を訪れ、南洲翁とお互いに親睦を深め、「徳の交わり」を誓い合っています。



南洲翁遺訓～そして、南洲神社の設立～

南洲翁から教えを得た旧庄内藩士たちは、学んだ全てを書き残し、明治23年「南洲翁遺訓」として刊行しました。旧庄内藩士たちは、この南洲翁遺訓を風呂敷に背負って、全国を行脚しながら配布しました。



【飯森山公園】

公園内には土門拳記念館や白鳥池、アスレチック広場や多目的広場があります。池の周辺には、94種約15,300株のあじさいがあり、6月下旬から7月上旬が見ごろです。

大人気のあの遊具がカラフルになってリニューアル！

飯森山公園 冒険広場で一番人気の遊具「ローラー滑り台」がカラフルになってリニューアルしました！

また、森の中の動物が集まってくる不思議なレストランをイメージした遊具「イーモリモリの木」は、まるで絵本の世界に入り込んだようです。

(文・写真: 酒田市公式ホームページより)



— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2019

第4回

“ウォーキング倶楽部”



とき: 令和元年7月27日(土)午前9:00開始

ところ: 遊佐町 蕨岡まちづくりセンター駐車場

【今回の見どころ】

“遊佐蕨岡修験道コース”

【大物忌神社蕨岡口ノ宮】

鳥海山は活火山で、噴火などの異変が起こると朝廷から奉幣があり、鎮祭が行われた。本社は山頂に鎮座し、麓に「口ノ宮」と呼ばれる里宮が吹浦と蕨岡の二か所に鎮座する。

蕨岡口ノ宮の本殿は安政2年(1855年)に焼失。明治29年(1896年)に再建された。社殿は国登録有形文化財に指定、平成20年には、山頂本殿から口ノ宮にいたる広範な境内が、国の史跡に指定された。



【蕨岡 旧上寺地区】 ～修験道の由来～

鳥海山の山麓には、蕨岡、吹浦、八島、小滝など多くの修験の根拠地があった。蕨岡の修験(衆徒)はその中でも最も大きな勢力を持ち、上寺(うわでら)と通称される丘上に居住して大衆(だいしゅう)とも呼ばれた。近世では、「蕨岡三十三坊」と称して一山組織を形成して勢力を誇った。



【鳥海山 龍頭寺】

真言宗智山派(総本山智積院)。寺伝によると平安時代前期大同2年(807年)慈照上人が開創とされている。蕨岡三十三坊からなる修験の一山寺院(衆徒)の頂点に立つ学頭寺が龍頭寺である。往古は、十一面観音を本尊として松岳山観音寺光岩院と称し、鳥海山大物忌神社の祭祀を司った。仁王尊像の股ぐりをする、無病息災や、はしかが軽くすむ等の利益があるとされている。

平成27年11月に本堂、開山堂、観音堂が国登録有形文化財に指定された。



【山本坊】

蕨岡修験三十三坊の筆頭家格の宿坊。歌人鳥海昭子の生家。松岳山中腹の斜面

をそのまま利用した造りは、雄大な自然庭園。



【子安神社】

上寺住泉坊の氏神様。安産と立身出世の神として祀られている。

住泉坊は、代々鳥

海山大物忌神社の別当をつとめる家柄。

【W坂の桜並木】

第八代村長 太田俊賢翁がバスを通すために整備した道路で、昭和9年に完成。道路わきに桜を植樹し桜の名所となっている。



【(資) 杉勇蕨岡酒造場】

大正12年創業。鳥海山の氷河に源を発する水で仕込み、昔ながらの手造りにこだわった蔵元。



(資料・写真: 遊佐町公式HP、蕨岡まちづくりセンターHPより)

“ウォーキング倶楽部”



とき: 令和元年9月21日(土)午前9:00開始

ところ: 本楯 JA酒田きた支店 駐車場

【今回の見どころ】

“国府の火祭り・刈屋梨コース”

【国指定史跡 城輪柵跡】



城輪柵跡は、昭和6年に発見された一辺が約720メートル、総面積52ヘクタールの広大な遺跡です。奈良時代末期に秋田城(出羽柵)から移設され、平安時代の初めから終わりまで約400年間にわたる出羽国府の政庁跡と言われています。昭和7年に国から史跡として指定され、昭和56年に追加指定を受けました。

平成元年度から政庁南門、東門および築地塀の一部を復元し、現在、歴史公園として親しまれています。毎年8月に、篝火の下で民俗芸能などが演じられる「国府の火まつり」がおこなわれています。

【主な出土品】



まげの 曲物のひしゃく(柄は参考)



かめ



将棋の駒

城輪柵跡 政庁 イメージスケッチ



(酒田市公式HP、酒田市教育委員会発行パンフレットより)

【刈屋梨】

刈屋地区は、鳥海山系の二つの清流、日向川と荒瀬川の合流地点にあります。ここには、鳥海山のブナ林の養分をたっぷり含んだ肥沃な土が、長い年月をかけて堆積してきました。この豊かな大地と、鳥海山の清流が、刈屋梨を育ててきたのです。

刈屋では梨畑に網をかけません。網をかけないことで、太陽の養分をしっかりと受け、いい実にするために努力しているのです。

〔資料:酒田市 農政課〕



— JA健康寿命100歳プロジェクト —

JA庄内みどり 2019

第6回

“ウォーキング倶楽部”



とき: 令和元年10月26日(土)午前9:00開始

ところ: JA平田中央支店 駐車場

【今回の見どころ】“彫刻の散歩道コース”

【酒田(旧平田町)が生んだ彫刻家 石黒光二の世界】

石黒光二氏(埼玉県所沢市在住)は1952年、旧平田町山谷生まれ。県立酒田北高校(現・酒田光陵高)を卒業後、多摩美術大彫刻科に進学。酒田市千代田出身の彫刻家・高橋剛氏(1921-91年)に師事した。76年に日展に初出品で初入選。78年以降は連続入選し、96年に会員となった。16年の改組新第3回日展では、作品「月光」で第3科(彫刻)の最高賞・内閣総理大臣賞を受賞した。



『平田の里』砂越駅ホーム

酒田市役所エントランスに『月光』設置

17年10月、酒田市役所1階エントランスホールに『月光』のブロンズ像が設置された。酒田市が石黒氏に依頼し、日展出展と同じ型を使い、初めてブロンズで作成した。高さ2.22m(木製台座を含めると約2.5m)、月を象徴する「月輪」を光背のように背負い、腕を挙げて立つ柔和な表情の女性像は、観音像にも似て訪れる酒田市民をやさしい眼差しで見守ってくれている。

[文・写真: 2017.10.3 庄内日報社記事参照]



『東部中学校の校章』

松山中・飛鳥中学校統合校の
新校章を石黒氏がデザインした。

平田地区14カ所に作品を設置



『ポニーと少女』
南平田小学校前



『空の詩』
ひらたタウンセンター



『舞華』
イベント広場



『ふれあい』
イベント広場



『風の調べ』
平田総合支所前



『翔』東部中学校敷地内



『風』改善センター

「山居館」にマルノー商品の自販機あります



株式会社みどりサービス

マルノー山形 (食品部)

山形県産米・大豆
100%使用の味噌

新鮮保持ボトル入りの
醤油シリーズ

醤油の実
甘酒
豚丼たれ
焼肉たれ
もろみ等

県産庄内柿100%・
松山地区のおぼこ梅
使用の柿酒・梅酢

飛島の炭火焼・天日干し
飛び魚を使ったつゆ
各種

— JA健康寿命100歳プロジェクト —

JA庄内みどり 2019

第7回

“ウォーキング倶楽部”



とき: 令和元年11月9日(土)午前9:00開始

ところ: JA酒田みなみ支店 駐車場

【今回の見どころ】“最上川コース”

いよいよ
最終回!



酒田米菓は、昭和26年年創業以来、「米と製法へのこだわり」を大切に、精米からせんべいの生地作り、包装、出荷までの全工程を自社工場で一貫生産する方式をとっています。本社最上川工場で生産している「オランダせんべい」は、庄内産の一等米100%使用、日本ではじめてのうす焼きせんべいとして昭和37年に発売。以来東北のソウルフードとして、長い間幅広い年代の皆さんに愛されてきています。



【名前の由来】

田んぼが広がる庄内の風景が、オランダの風景に似ていることや、庄内の方で、「私たち」を「おらだ」と言うことから、「私たちの米で作った私たちのせんべい」ということ

で付けられました。

資料: 酒田米菓公式HPより



この国の誇る「米文化」を次の世代に伝えるために、本社最上川工場を「観光工場」として一般公開する事業を立ち上げ、平成27年8月、「オランダせんべいファクトリー」がオープンしました。

工場見学では、米を製粉するところから、せんべいが焼け、包装まで一連の工程を見学できるほか、お米とせんべいについての歴史やせんべい焼体験、トリックアートなど家族そろって楽しめます。

【小牧川】

小牧川は、酒田市街地を流れ日本海へ注ぐ川幅5mほどの小さな河川です。水源をもたず、農業用水の排水先の為、平成8年頃、県内で最も汚れた川と言われてました。その後、地域住民の熱心な浄化活動により、「ホテルに逢える小牧川」を目標に、行政と一体となり、地域の憩いの場として再生する取り組みが行なわれています。



【小牧川水門】

最上川と小牧川の合流点付近にある小牧川水門。この施設の最上階は「野鳥観察館」になっており、鳥の模型やバードウォッチング用の望遠鏡が設置されています。



【日本海東公園】

平成5年「日本海総合病院」開院に合わせて、都市公園・避難場所として整備されました。